

第 62 回町村議会議長全国大会・会長挨拶

本日ここに「第 62 回町村議会議長全国大会」を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

明治 150 年の記念の年に、安倍内閣総理大臣をはじめ、政府、国会、政党を代表する先生方並びに全国町村会長のご臨席を賜り、かくも盛大に大会を開催できますことは、誠に光栄であり、主催者として感激の極みであります。

ご多忙の中を、曲げてご臨席いただきましたご来賓の皆様は、まずもって、御礼申し上げます。

また、本大会は、^{きんじょうへいか}今上陛下の御代^{みよ}に開催する最後の大会となります。

明治政府の樹立を近代日本の幕開けと呼ぶのであれば、平成の世は地方分権社会が幕を開け、大きく前進した時代と言えましょう。

平成 3 年には国と地方の関係を歪めていた機関委任事務が初めて見直され、平成 5 年には我々地方六団体に意見具申権が付与されました。そして平成 12 年には念願であった地方分権一括法の施行により、機関委任事務が廃止され、国と地方の関係が主従関係から対等な関係となったことは、大きな歴史の転換期として記憶に残っております。

以降、8 次にわたる分権一括法により、権限の移譲や、義務付け・枠付けの緩和といった取り組みにより、地域の自主性及び自立性が高まっていることを肌で感じておりますが、来る時代におかれても、^{すうごう}崇高な地方自治の精神^{のつと}に則り、これまで以上に地方分権改革が推し進められることを期待いたします。

他方で、我が国の経済は、バブル崩壊以後「失われた 20 年」と称される長期的な低迷期を経験し、平成の大合併、度重なる自然災害の影響、本格的な人口減少社会の到来なども^{あいま}相俟って、町村の行財政運営は常に厳しい状態に置かれて参りました。

このような状況から脱却すべく、全国の町村では、^{ふるさと}疲弊した故郷を再生するため「地方創生」により、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけるべく、新たな発想や創意工夫を活かした事業展開に取り組んでいるところで

あります。

本大会のサブタイトルにも掲げておりますように、我々は、地方創生の成功なくして、町村の未来はないとの危機感を持ち、この「地方創生」を実現させる覚悟でございますので、国におかれては、地方が腰を据えて事業を展開できるよう、地方創生関連予算を十分に確保していただきますようお願い申し上げます。

大規模災害対策の確立も喫緊^{きつぎん}の課題であります。

東日本大震災及び熊本地震の被災町村では、国の特例的な財政支援^{もと}の下、急ピッチで復旧・復興事業に取り組んでいるところでございますが、私は被災者の「心の復興」が何より重要であると考えます。

被災地で進む復興事業が、街並みを取り戻すだけの「復興」ではなく、幸福を取り戻すための「復幸」になりますことを強く望むものであります。

また、本年にも、大阪北部地震、北海道胆振東部地震^{いぶり}が相次いで発生し、国民の中に、地震に対する恐怖心や警戒心が再び増大しています。特に北海道ではその全域がブラックアウトとなるなど想定外の二次災害も発生しており、あらゆる事態を想定しての災害対策を講じることの重要性が再認識されました。

発生が予見されている大震災のみならず、豪雨・台風災害、豪雪災害、噴火災害に備え、国民の命と財産を守るための対策を、国をあげて講じるよう、要請するものであります。

さて、本日は2年ぶりに安倍総理にご臨席いただいております。

安倍総理におかれては、政権回復から6年の間、絶えず安定した政権運営をされており、まさに円熟の、実りの秋を迎えられておられます。

国を大樹に例えるならば、善良で勤勉な国民^{ひよく}は肥沃な土壌であります。

そして、我々町村は、大樹を支え、土壌から水や養分を送る「根」の役割を担っているものと自負しております。

大樹は、大樹であればあるほど、大きく根を張っているものです。

僭越^{せんえつ}ではございますが、政府におかれては、合併の強制や道州制の導入といった行政効率のみを優先した政策によって、自らの根を断ちきるようなことだけは絶対になさらぬよう、この場を借りてお願いいたします。

全国の町村議会は、住民に一番身近な自治体の住民の代表として、これからも地域にしっかりと根を張り、縁の下から国を支えていく所存でございますので、ご臨席を賜りましたご来賓の先生方におかれましては、私達がお運びする要望や提案は、国民の声であるご認識いただき、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本大会が所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご格別のご協力をお願い申し上げ、開会のご挨拶といたします。

平成 30 年 11 月 21 日

全国町村議会議長会

会 長 櫻 井 正 人